

学会発表渡航支援報告書

(ふりがな) 氏 名	なかはら ゆみこ	所属・職名
	中原 由望子	大阪府立大学人間社会学研究科 人間科学専攻
e-mail	snow_nakahara@yahoo.co.jp	
発表題名 (英語)	How I Feel Lonely: Interviews with Japanese Aged Males	
著者名	中原 由望子	
会議名 (英語)	The 18 th Annual Congress of Gerontology. Hong Kong Association of Gerontology	
開催地(国、市)	香港	
参加期間	2010年11月27日	
<p>私は、2010年11月27日に香港で開催された The 18th Annual Congress of Gerontology に出席した。その際に、京都大学 GCOE の渡航助成を受けた。</p> <p>会議のテーマは、Population Ageing: Enriching Life, well-being and sustainable Aged Care で、Plenary セッションで、Dr. George LEESON (Institute of Ageing, University of Oxford) が” Reclaiming Old Age – the Story of Global Ageing” というテーマで講演をされた。</p> <p>参加報告者は、香港大学、香港教育大学、香港元老院職員と香港在住の方がほとんどだったが、私を含めアジア数カ国からの参加者もあり、一応、国際会議となっていた。</p> <p>私は、日本の高齢者、なかでも配偶者を亡くした男性の孤独感について発表をした。日本では配偶者を亡くした女性の活発な交友関係や社会活動が報告されるなか、配偶者を亡くした男性の孤独や孤立の報告がなされている。配偶者を亡くした男性の交友関係や意識の聞き取りを行い、孤独について述べられた箇所をまとめて報告を行った。発表後、日本の年金制度、日本の高齢者の再婚率について質問があった。</p> <p>発表終了後、香港大学と香港教育大学の博士課程学生グループと(学生だけで)お茶を飲みながら話す機会があり、香港の高齢者問題がどのようなものであると考えられているのかなど情報交換を行い、また、学校生活や学会渡航費の捻出方法などについても話し、私にとって楽しい時間だった。</p> <p>今回の学会では、高齢社会について、人口学的視点、福祉制度や医療施設で問題となっている点からのアプローチなど、各方面から高齢社会についての発表があり、私は興味のある発表をいくつも聞くことができ、大変刺激を受けることができた。</p> <p>経済的支援をいただき、学会参加を可能にいただいた京都大学 GCOE 海外渡航助成の制度に深く感謝している。</p>		

学会発表渡航支援報告書

